© The Tiffen Company, 2000
KODAK Gray Scale
Kodak
LICENSED PRODUCT

118
1961

遠
1951
69
合冊三

へ3
1961
118

世中何方に奇特
あらく述し
たる

花は百花の香にして百花同じく鳥は百鳥の聲あり百
鳥異なりむ〻〻雪山の寒鳥光常と觀じ恒山の四鳥別離
を悲しむ爵嘖喈〻〻公冶長と話す鶴飄として林和靖
と導く蘇武が鴻雁狄地の苦話を訴へ崇義が鸚鵡渾
家の妍通を告る貞婦化して鴛鴦の衾寒く實方
没して雀形の屏風破る梧は鳳凰柳は燕梅は鶯葛
籠は連雀鵙の履價は杜鵑は鵂の鮓は信天翁
夫蘆は集く鳧は羹くなる麥は鳴鶴
炙と成る〻〻雨の濡鷺賴風の義絶を哀て
夜の群鴉裙成の登樓と粧ふ蓋人は鳩胷あり三枝の

礼を躾く草の鳥風あれども奚ぞ反哺の孝を知る神代の無名の雉佛説の金翅鳥動迷へば明巣の白日鶯悟まば高野の佛法僧。繡眼の不動。鷦鷯の宮。凡夫乃智慧の鳥は迹一堆の喜怒哀樂一切衆生花鳥羽根ゞ敵の世は中ゞやか嗚呼。

享和二年壬戌上春

曲亭子誌

ふくろう

ふくろう

おらんだこうくりのきやくあるハ
つまとこの山をさしてうたふゑ
うぐひすのごとくからのを
いろくろくきなるかえりて
のさしげわりて百舟がくく
のあをくれはわかひらく紫
ハさくらいろいしてあをされ
おさまかりてあざむくなぶ
ハすんせられごとくもちとり
そりしんくぶれ尋ねり
はとり八節一日ハをいろ黒く
よりもまろくうまれせ
てんかうくらい十年ほどそ
はどまわりあぐれのふちよ
まひあてふ水をのむよる
おきてみるとハうえんも
おかすこのとりんなよ
かやうしてかかしてそう
あんをおかってあり
なまあんさちまちおん

どうのくそのあ
ごいつちのきこゆう
いまいにん三かけの
らんそをもるるあり
はきかくされつづひ
さぶるさうらうくあのうち
まやがいかさりいるるから
でもおとけべいぞりてさもがれ
まさへる そもいやがれてかう
よいくえん らんとさらあの
めんどうハさう けいこうこてて
けんそてとろ れいこうよ
すうかぐくやが まねしぶ
てゐくてらよ
うちさいまちや
らうおあのごく
まるあられはい
それすりまのろ
くなる是こひまよ
つきれやがて下づ
ひとへのやまうり

やけざれきぞす

夜着れけり

あびあつ子

通油町
鶴喜板
壬戌
稗史
養得
節名
鳥圖
會
中

矢場鳥
慶紋

やもり

えんまん千きる

ひりぐま

ろくじろう
まらふんし

こまもの
よひぢぞろ
山
京

かけ弓
大彌鳥
地本問屋
通油町
仙寿堂
和漢書物

夜雪

通油町
鶴喜板
壬戌
稗史
養得
筋名
鳥圖
會
下

ひるまんび

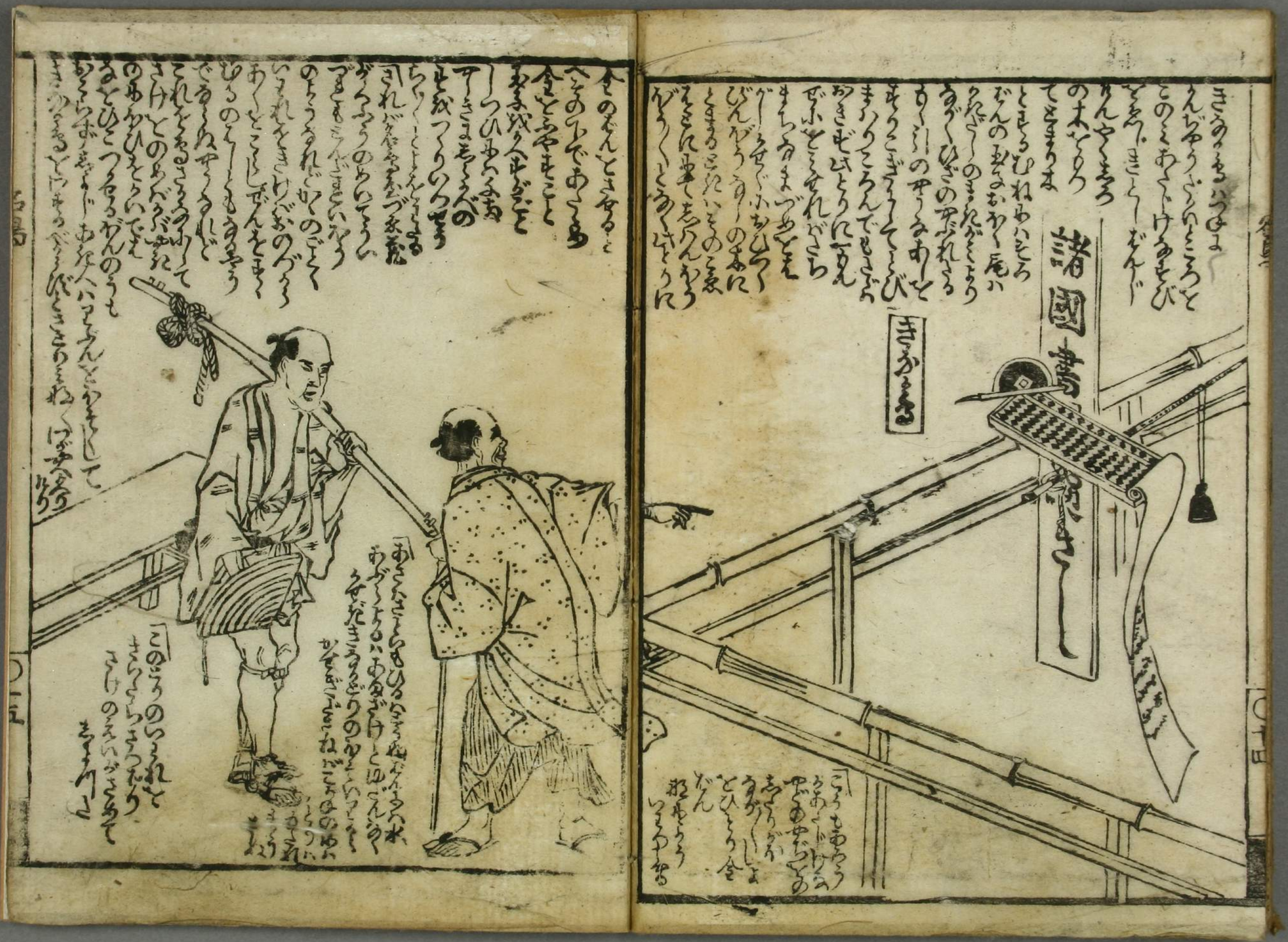
ちゃうちゃう
にうりのん
ざりとくりが
よしーーーどこら
ぜんぎうんころさん
のそそもわろう

吉原もぐら

ぢうく
ぢんきよ
ちとぢうとバ
やまんでさらに
ぢんきよ
ひとくれる

水こいとる

食ひか


諸國夢
きかくまる

曲亭馬琴作
俳諧節用抄自稿